報道発表資料（一般見学不可）

東京消防庁　Tokyo Fire Department

令和４年１０月１８日

航空機事故を想定した大規模訓練に参加

東京消防庁は、東京国際空港において、航空機事故を想定し多数の関係機関と連携した航空機事故対処訓練に参加します。

訓練は、航空機が滑走路への着陸に失敗し、機体は大破し多数の負傷者が発生したという想定で、各関係機関が連携して消火・救出救助活動を行います。

訓練の日時等については下記のとおりです。

記

1　実施日時

実施日　令和４年１０月２７日（木）　１３時３０分から１５時００分まで

予備日　なし

2　実施場所

大田区羽田空港三丁目６番先

東京国際空港内（別図-１、別図-２）

3　主催

東京国際空港緊急計画連絡協議会

4　訓練概要

羽田航空２０２２便（ボーイング７８７－９型機／新千歳空港発）がＣ滑走路３４Ｒへの着陸に失敗、機体は大破し多数の負傷者が発生したことを想定し、航空機の消火活動、乗客・乗員の救難活動および医療活動訓練を行う。

5　参加予定機関

９２機関（東京消防庁・海上保安庁・警視庁・医師会・東京ＤＭＡＴ・航空会社等）

車両約４０台、人員約２００名

6　取材の申込について

別添えの取材申込書にて、**１０月２４日（月）の１２時００分までに**広報課報道係へメール（houdou@tfd.metro.tokyo.jp）またはＦＡＸで申込んでください。**当日の申込はできません。**

7　当日受付について

(1)　当日は、１１時３０分から１２時２０分の間に東京空港事務所第１庁舎１階ロビー（別図－３）で必ず受付を済ませて下さい。受付をされず、直接訓練会場付近において取材されることはご遠慮願います。※時間厳守でお願いします。

(2)　受付時、記者証又は社員証をコピーさせていただき、報道関係者特別入場許可証をお渡しします。
(3)　取材終了後は、東京空港事務所空港保安防災課へ報道関係者特別入場許可証を返却して下さい。
(4)　受付後、東京空港事務所から訓練会場まではリムジンバスにてご案内します。
(5)　やむを得ず自社車両にて東京空港事務所へお越しの場合は、受付後、同車両にて参観者駐車場（別図－３）へ移動願います。（空港事務所には駐車できません。）

○ リムジンバス運行表
空港事務所発 → 訓練会場行
１２：００、１２：１５、１２：２０、１２：３５、１２：４０
参観者駐車場発 → 訓練会場行
１１：５０、１２：１０、１２：３０、１２：５０
※訓練終了後、訓練会場から空港事務所および参観者駐車場まで数回運行します。
※訓練参加者の優先乗車にご理解とご協力をお願いします。

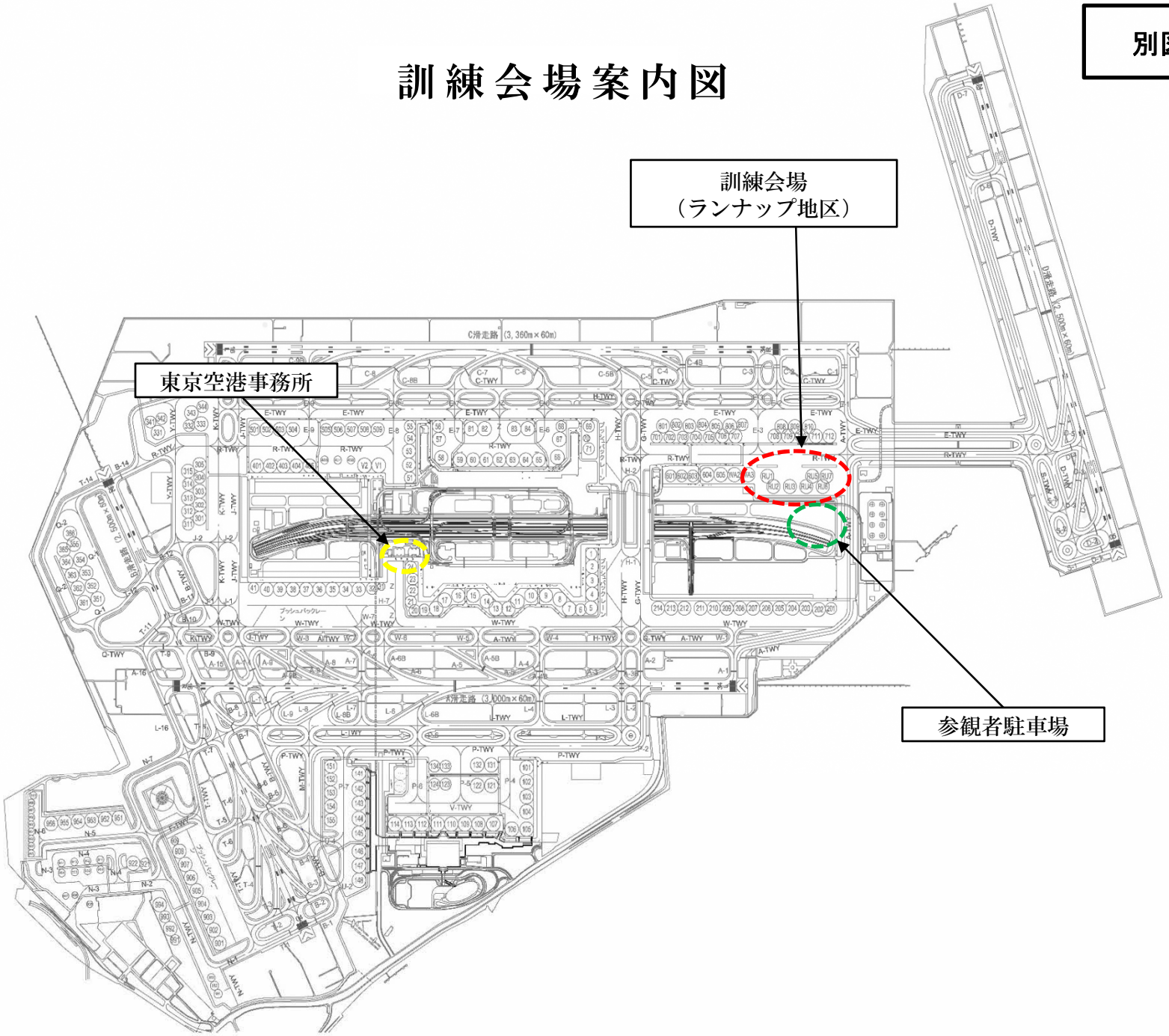
８　取材にあたっての注意事項

(1)　新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各社とも取材スタッフは最小限としていただきマスクを着用、検温の実施、手指消毒の実施をお願いします。３７．５度以上の発熱がある場合は、取材をご遠慮願います。
(2)　取材時は、報道関係者特別入場許可証を着帯して下さい。
(3)　取材中は、安全のため係員の指示に従って下さい。
(4)　プレスエリアを設けていますのでプレスエリアでの取材にご協力をお願いします。
(5)　訓練終了時は、東京空港事務所職員の誘導でプレスエリアから退場して下さい。
(6)　荒天等により訓練を中止する場合は、当日９時３０分までに取材申込書に記載された連絡先へ連絡します。
(7)　小雨程度で実施する場合には、訓練会場は風が強いことから傘の使用はご遠慮いただいておりますので、雨合羽等のご準備をお願いいたします。
(8)　訓練会場に入場後は、訓練終了まで退場できませんのでご了承願います。

問合せ先
東京消防庁　広報課報道係　電話　３２１２－２１１１　内線　２３４５～２３５０
蒲田消防署　空港分署警防係　電話　３７４７－０１１９　内線　８４２　８５５

別図－1

訓練会場案内図


訓練会場
（ランナップ地区）
東京空港事務所
参観者駐車場
C滑走路（3,360m×60m）
A滑走路（3,000m×60m）
D滑走路（2,500m×60m）

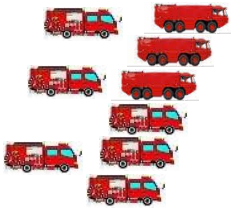
別図－2

活　動　展　開　図

出動車両
待機位置

医療機関
ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ位置

ランナップ地区



無傷者地区

第３救護所

模擬病院

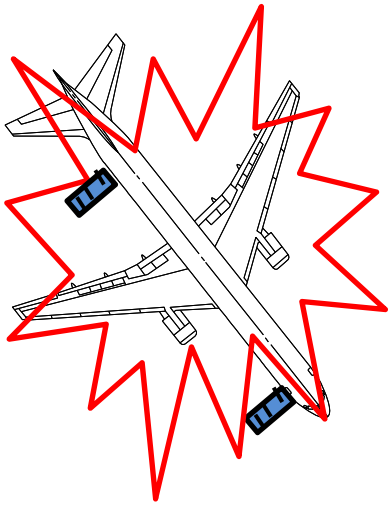
搬送地区

第２救護所

第１救護所

トリアージ地区

集結地区



遺体
仮収容所

ｽｰﾊﾟｰｱﾝﾋﾞｭﾗﾝｽ

仮想
空港ビル

救急指揮所
(消防庁)

医療指揮所
(医療機関)

前進指揮所
(消防庁)

現場調整所
(関係機関)

指揮本部
(消防庁)

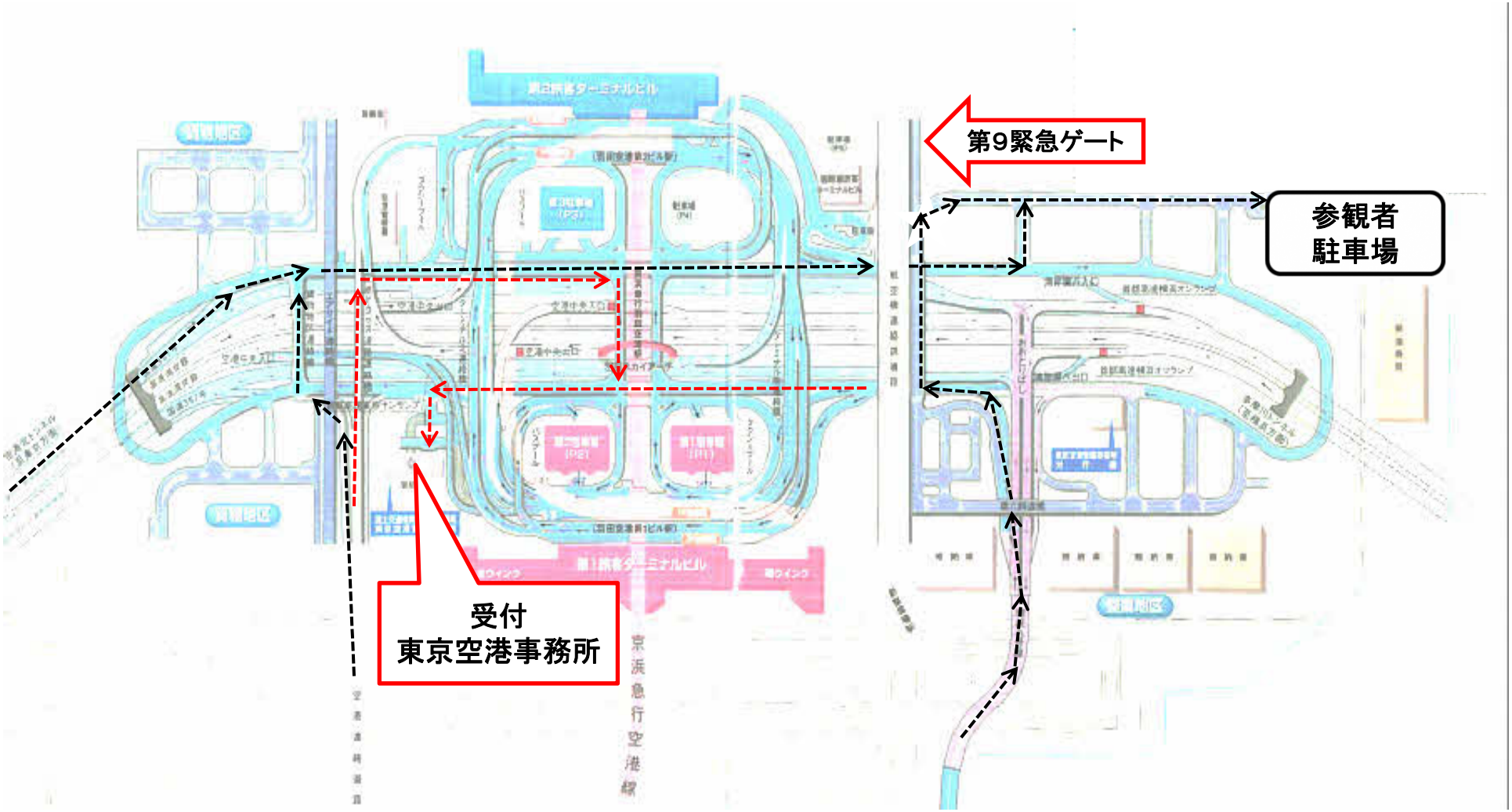
関係者駐車場

NTT東日本

関係者出動
待機位置

プレス席

参　観　者　席

別図－3

参観者駐車場案内図